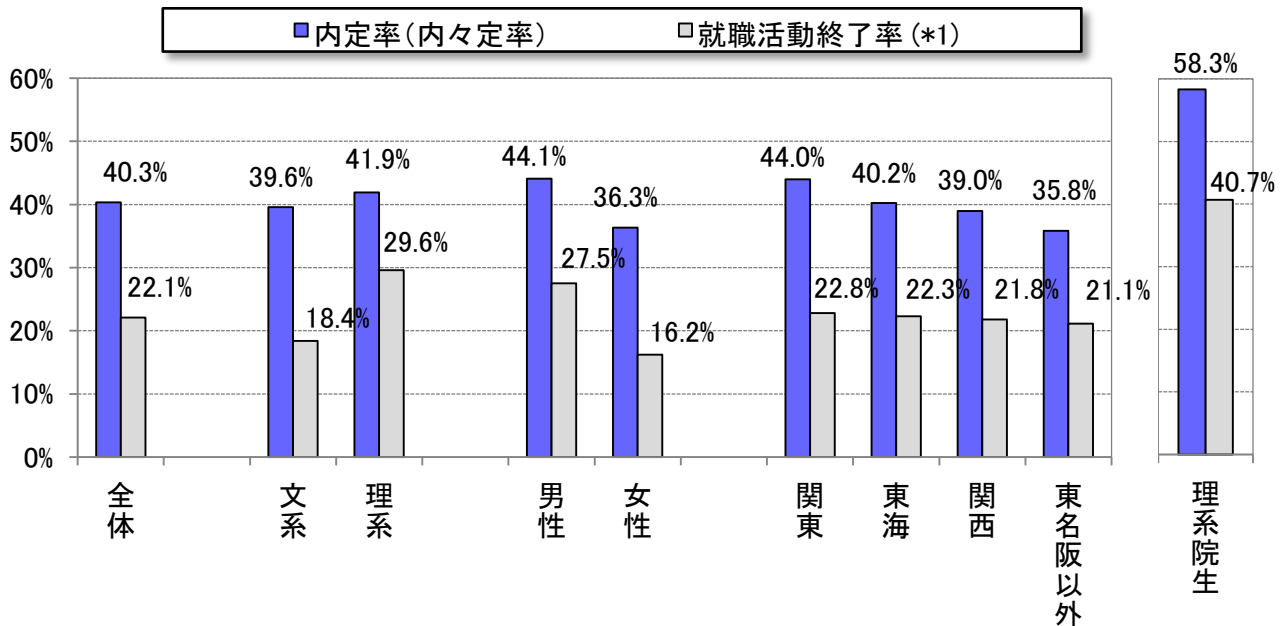


2011年6月7日

## リクナビ会員の内定率(内々定率) 5月度 ～大学生・大学院生の就職活動動向レポート(リクナビ調べ)より～

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO: 柏木齊)では、リクナビ会員の大学生・大学院生を対象に、5月23日～5月30日現在の就職活動の状況を取りまとめましたので、ご報告いたします。

- 調査時点でのリクナビ会員の大学生の内定率(内々定率)は、40.3%。  
また、就職活動終了率(\*1)は、22.1%となった。
- 文理別にみると、内定率(内々定率)は文系39.6%、理系41.9%。  
ただし理系大学院生の内定率(内々定率)は58.3%と、大学生全体の40.3%より18ポイント高い。



	大学生全体									大学院生	
	文理		男女		地域 (*2)					(参考)	
大学生全体	文系	理系	男性	女性	関東	東海	関西	東名阪以外	(参考)被災地	理系院生	
有効回答数(名)	1,921	1,289	632	996	925	812	184	395	530	237	760
内定率(内々定率)	40.3%	39.6%	41.9%	44.1%	36.3%	44.0%	40.2%	39.0%	35.8%	29.5%	58.3%
就職活動終了率(*1)	22.1%	18.4%	29.6%	27.5%	16.2%	22.8%	22.3%	21.8%	21.1%	16.9%	40.7%

\*1: 「今後、就職活動を終了する」と回答した者の割合

\*2: 学生がリクナビに登録している現住所(都道府県)

東名阪に含まれる都道府県

関東: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

東海: 静岡県、岐阜県、愛知県、三重県

関西: 滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、和歌山県、兵庫県

被災地に含まれる県

青森県、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、千葉県

【本件に関するお問い合わせ先】

[https://www.recruit.jp/form/inquiry\\_press.php](https://www.recruit.jp/form/inquiry_press.php)

～ 2012年卒業  
予定のリクナビ  
会員対象～

大学生・大学  
院生の就職活  
動動向レポート

- 主体: 株式会社リクルート HRカンパニー
- 目的: 就職活動中の大学生の就職活動状況を明らかにし、関係各位の参考に供する。
- 時期: 2011年5月23日～5月30日
- 対象: リクナビ2012\*会員の大学生および大学院生 429,284名  
\*リクナビ:株式会社リクルートが開設している、就職活動を支援するサイト。  
<http://job.rikunabi.com/2012/>
- 調査方法: 対象者に対し、メールで調査を告知。  
調査用のホームページ上で回答を回収した。
- 集計対象数: 大学生:1,921名、大学院生(理系):760名  
計 2,681名 (回収率:0.62%)

※男女比の調整について

回答者の男女比について、実際の母集団の男女比に近づけるよう、文部科学省「平成22年度学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている。

【参考】  
～ 2011年卒業  
予定のリクナビ  
会員対象～

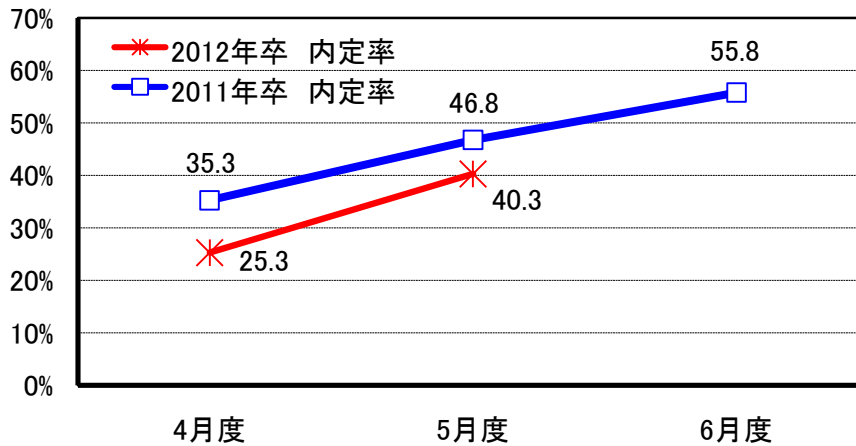
大学生・大学  
院生の就職活  
動動向レポート

- 主体: 同上
- 目的: 同上
- 時期: 2010年5月24日～6月3日
- 対象: リクナビ2011会員の大学生および大学院生 210,228名
- 調査方法: 同上
- 集計対象数: 大学生:1,712名、大学院生(理系):734名  
計 2,446名 (回収率:1.16%)  
※男女比の調整について 同上

## 【参考】リクナビ会員(大学生)の内定率(内々定率)の推移

■ 5月度のリクナビ会員(大学生)の内定率(内々定率)は、  
2012年卒は40.3%となり、2011年卒の46.8%と比べ、6.5ポイント低い。

✓ 5月度の内定率の前年同月との差は、4月度が10.0ポイントであったのに比べると縮小。



【2012年卒】

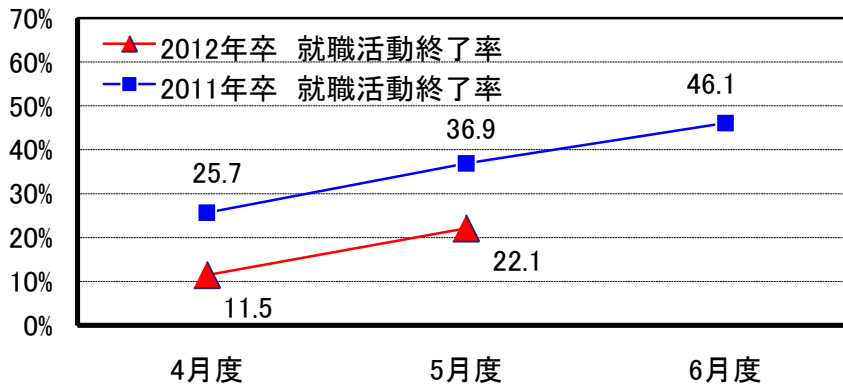
		集計対象数		内定率(内々定率)		
		4月度	5月度	4月度	5月度	
大学生	大学生全体	1,089	1,921	25.3%	40.3%	
	文理×男女	文系男性	333	564	24.9%	44.0%
		文系女性	413	725	23.2%	36.1%
		理系男性	231	432	26.0%	44.2%
		理系女性	112	200	32.1%	37.0%
	地域	関東	439	812	30.5%	44.0%
		東海	109	184	26.6%	40.2%
		関西	237	395	24.5%	39.0%
		東名阪以外	304	530	17.8%	35.8%
		(参考)被災地	126	237	21.4%	29.5%
理系院生	487	760	41.7%	58.3%		

【2011年卒】

		集計対象数			内定率(内々定率)			
		4月度	5月度	6月度	4月度	5月度	6月度	
大学生	大学生全体	1,112	1,712	891	35.3%	46.8%	55.8%	
	文理×男女	文系男性	340	529	272	41.5%	52.6%	60.7%
		文系女性	457	720	370	29.5%	43.1%	55.1%
		理系男性	207	313	166	36.7%	47.3%	54.8%
		理系女性	108	150	83	37.0%	43.3%	44.6%
	地域	関東	454	739	370	40.3%	48.6%	55.4%
		東海	135	192	85	31.1%	49.5%	60.0%
		関西	271	363	213	32.5%	42.1%	51.2%
		東名阪以外	252	418	223	31.3%	46.4%	59.2%
		(参考)被災地	106	189	99	36.8%	47.1%	57.6%
理系院生	465	734	379	60.0%	73.0%	81.5%		

## 【参考】リクナビ会員(大学生)の就職活動終了率の推移

- 5月度のリクナビ会員(大学生)の就職活動終了率は、2012年卒は22.1%となり、2011年卒の36.9%と比べ、14.8ポイント低い。4月度と同様の傾向。



【2012年卒】

		集計対象数		就職活動終了率		
		4月度	5月度	4月度	5月度	
大学生	大学生全体	1,089	1,921	11.5%	22.1%	
	文理×男女	文系男性	333	564	9.6%	22.2%
		文系女性	413	725	8.5%	15.4%
		理系男性	231	432	17.7%	34.5%
		理系女性	112	200	15.2%	19.0%
	地域	関東	439	812	12.8%	22.8%
		東海	109	184	12.8%	22.3%
		関西	237	395	11.4%	21.8%
		東名阪以外	304	530	9.2%	21.1%
		(参考)被災地	126	237	4.8%	16.9%
理学院生	487	760	25.3%	40.7%		

【2011年卒】

		集計対象数			就職活動終了率			
		4月度	5月度	6月度	4月度	5月度	6月度	
大学生	大学生全体	1,112	1,712	891	25.7%	36.9%	46.1%	
	文理×男女	文系男性	340	529	272	29.7%	41.2%	46.3%
		文系女性	457	720	370	19.5%	31.0%	43.2%
		理系男性	207	313	166	30.0%	43.1%	54.8%
		理系女性	108	150	83	31.5%	36.7%	41.0%
	地域	関東	454	739	370	27.5%	39.9%	45.1%
		東海	135	192	85	24.4%	34.9%	47.1%
		関西	271	363	213	22.9%	30.6%	42.7%
		東名阪以外	252	418	223	26.2%	37.8%	50.7%
		(参考)被災地	106	189	99	27.4%	40.7%	46.5%
理学院生	465	734	379	48.8%	62.5%	74.7%		

## 【参考】震災を受けての就職活動の状況

- 企業の対応については、前月と比べ、被災地の大学生は、「採用選考の時期」の変更にともない、「何をすればいいのかわからない」という懸念が増え(項目6)、被災地以外の大学生は、「卒業/修了論文や研究の時間の減少」に懸念を感じる大学生が増えた(項目2)。その他の項目は、概ね緩和した。
- 大学生の心理については、被災地の大学生は、「例年の傾向が参考にならない」という不安が前月と比べて増加した(項目9)。

\* 被災地:青森県、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、千葉県に現住所がある大学生

(現住所が被災地の大学生:n=237/それ以外の大学生:n=1,684)

<算出方法>各項目について、「全くあてはまらない」「あまりあてはまらない」「どちらともいえない」「ややあてはまる」

「かなりあてはまる」を選択し、選択率を算出。「ややあてはまる」「かなりあてはまる」の合計を掲載した。

被災地、それ以外のそれぞれの「企業の対応について」「学生の心理について」の選択率が高い項目の上位2つに網掛けをした。

		被災地			それ以外			
		4月度	5月度	前月差	4月度	5月度	前月差	
企業の対応について	1	複数の企業の採用選考時期が重なり、参加できない企業が出てくると思う	65.9%	58.2%	-7.6	51.3%	47.8%	-3.5
	2	採用選考時期が遅くなり、卒業/修了論文や研究の時間が少なくなると思う	73.0%	70.0%	-3.0	56.2%	57.4%	1.2
	3	志望度の高い企業の採用選考時期が遅くなり、就職活動を長期間続けることになると思う	81.0%	67.1%	-13.9	66.4%	62.4%	-4.0
	4	企業が参加するイベントが中止・延期になり、企業の人と直接接点を持つ機会が減ると思う	61.9%	50.2%	-11.7	44.9%	38.5%	-6.3
	5	企業がOB・OG訪問の受け入れを中止・延期し、企業の人と直接接点を持つ機会が減ると思う	40.5%	31.2%	-9.3	29.1%	25.1%	-4.0
	6	企業の採用選考時期が大きく変更となり、いつ何をすればいいのかわからない	51.6%	55.7%	4.1	47.0%	40.7%	-6.3
大学生の心理について	7	就職活動に関する情報が、不足なく入手できているのかどうか不安だ	61.1%	55.3%	-5.8	45.3%	40.1%	-5.2
	8	他の地域の学生と比べ、不利になるのではと思う	47.6%	44.7%	-2.9	23.1%	22.1%	-0.9
	9	例年の傾向(先輩の就職活動情報など)が、全く参考にならないので不安だ	54.0%	57.4%	3.4	46.1%	42.9%	-3.2
	10	内定がもらえるかどうか不安だ	70.6%	71.7%	1.1	65.2%	54.9%	-10.3
	11	経済上の理由で(財産を失った、アルバイトできないなど)、就職活動を続けるのが困難だ	23.8%	24.1%	0.2	18.3%	17.0%	-1.3
	12	物理的な理由で(住まいを失った、交通手段がないなど)、就職活動を続けるのが困難だ	20.6%	13.5%	-7.1	8.8%	7.7%	-1.1
	13	心理的な理由で(震災のショックが大きいなど)、就職活動を続けるのが困難だ	21.4%	18.6%	-2.9	11.9%	11.4%	-0.5

注) 表示数字は小数点第1位までとした。